お便り

Letter

会員さんから「とも」に届いたお便りを紹介します。

これも温暖化?!

堺区永代町　山本　節美（61歳）

主人が、私と母（93歳）を乗せて、大仙公園に満開の桜をコロナ禍なので、車窓から花見に連れて行ってくれました。3月末で満開の桜。入学式まではもたないかな～？これも温暖化なのかな?!

久々帰省の娘の姿に

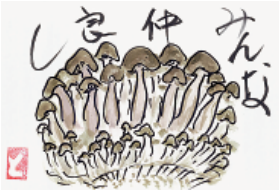
北区東浅香山町　稲井　由香子（48歳）

クロスワードクイズ、久々に帰省した次女が解いていました。ボールペン片手に向き合う姿にも「おかえり」と思う母でした。

読みやすい

堺区東湊町　松川　裕紀（47歳）

文字が大きくなって、老眼の私も、読みやすいです。



西尾　豊子

赤いローズの花

堺区西永山園　高橋　宏（88歳）

3月27日は、私たち夫婦の結婚60周年になります。「ダイヤモンド婚式」というそうです。私は妻に、「ごくろうさま」の代りに、赤いローズの花をわたすつもりです。

柿本　初野

マイペースで継続

西区上野芝向ケ丘町　平井　よしこ（59歳）

「おうちで運動」が参考になりますね。私はコレステロール値が高いので、「目指せ8000歩、早歩き時間20分」を目標に、マイペースで継続していこうと思います。

平穏な日常が早く

高石市加茂　田中　富実（60歳）

3月末で定年になりました。最後の年はコロナ禍で、送別会などもすべて辞退しました。平穏な日常が早く戻りますように。皆さんもがんばってください。

もっと危機感を

高石市取石　沼間　綾子（68歳）

3月11日の東日本大震災の新聞記事をみて、阪神・淡路大震災のことを思い出しました。実家もその影響をうけ、当時は姉と交代で、両親の住む家に行ったものです。「これからも震災に備えて、もっと危機感をもたなくては」と思いました。

松本　澄恵

「異常なし」にホッ

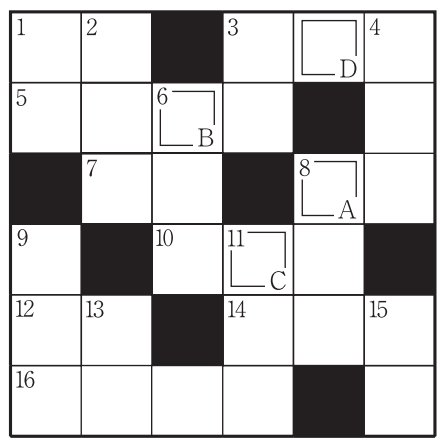
西区草部　南　美由紀（55歳）

「とも」を読んで、大腸がん検診を受けてないことを思いだし、「3月中に」と急ぎました。結果の封筒が届いたときは、受験生の合格発表を見るような気持ちで、ドキドキしました。「異常なし」にホッとしました。

田中　満代

お楽しみクイズ　クロスワードパズル

カギを解き、二重ワクに入る文字をＡＢＣ順に並べてできる言葉は何？



タテのキー

①――哀楽
②昼が最も短い日
③大坂夏の――
④知らせ。転居――
⑥捨て去ること。――
⑧家。ビニール――
⑨――にかすがい
⑪――物に福
⑬所変われば――変わる
⑮巨万の――を得る

ヨコのキー

①帰り道
③有名作家の――原稿を展示する
⑤連れ立つこと。父兄――
⑦辞職の意向
⑧かどで――合わせ
⑩ものの働き
⑫エトの第2
⑭費用。――がかかる
⑯船員
処分

ソ	ダ	イ	■	カ	ジ
ウ	■	シ	ユ	シ	ン
キ	ジ	■	キ	カ	■
■	ヨ	コ	■	リ	ス
レ	ツ	ト	ウ	■	ン
ジ	キ	■	ソ	ウ	シ

●３月号の答「ソウシュン（早春）」
●応　募　数／100通
●正解者数／　99人

●応募方法／郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、〒590―0821　堺市堺区大仙西町6丁184―2　友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてに郵送か、FAX（072―244―7860）、下のQRコードで取得できるメール（tomo-kenkou@mimihara.or.jp）で。
●しめきり／2021年6月9日(水)消印有効
●当選発表／厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品（図書カード500円分）を。賞品の発送をもって発表に替えさせていただきます。
●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただくことがあります。ご了承ください。

短歌

ドアー開く　迎えて下さる　イケメンに
そっと手を出し　診察OKかな～　水野　茂子

感受性　鈍る薬の　服用で
心動かぬ　まま詠う歌　小田　順平

まあいいか　さわぐ心を　なだめつつ
言い聞かせている　今日もまた　中西　博子

俳句

花の宴　止めようコロナが　押し寄せる　上田　邦夫
満開の　桜の下で　デートだよ　山本　直美
側転の　少女伸びやか　春の風　高野　純

川柳

科学より　命名ゆる名　まんぼうで　堀西　和子
独善で　飛沫感染　日本一　古賀　光政

※句を詠む時の情景や思いもお寄せください。
※俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2021年6月9日（水）です。
※特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

福祉用具の学習会

「福祉用具を知ろう」

～使うことで生活環境を整える

友の会まちづくり活動委員会・ふれあい支え合い会議では毎回、介護関連の学習会をしています。3月16日、14人の参加で「福祉用具の学習会」を開催しました。福祉用具のレンタル販売業者に、車椅子、歩行器、杖、突っ張り棒などの介護用具を持ってきてもらいました。

最初に、『介護保険の申請方法』『福祉用具ってなに?』『どうしたら借りれるの?』『金額は?』の話を聞きました。福祉用具とは、「利用者の生活がより快適になるお手伝いをする道具で、家族や介護者の負担を軽減できる。利用者の自立を促すことができる」との説明に一同納得。その後、実際に車椅子に試乗。歩行器、杖を体験しました。

体験後、「いつかはお世話になると思うので興味深かった」「ポールの手すりは初めて見た」「使ったらいいと思うけど、病人と思われたくない」「カッコ悪いので買い物カートで代用している」など、感想を交流しました。短時間でしたが、福祉用具のことを知る機会になりました。（ふれあい支え合い会議事務局）

編集後記

今月号から「同仁会報」と合わせて、8面建ての紙面になります。長らく休止していた郵送でのお届けも、再開します。来月号から新しい企画もスタートする予定です。

長引くコロナ禍、変異株の感染爆発。友の会活動が十分できないのが、悩みの種。ご意見をお寄せください。（明）

「とも」「同仁会報」は、ホームページでご覧いただけます。下のQRコードを読み取ってください。

◀社会医療法人同仁会―「同仁会報みみはら」
http://www.mimihara.or.jp/mimihara.html

◀健康友の会みみはら―機関紙「とも」
http://www.mimihara.or.jp/tomo.html